

エックス山 によろこそ

エックス山(西恋ヶ窪緑地)は国分寺市西恋ヶ窪3丁目にあり、約1.36haの市内最大の雑木林です。武蔵野の雑木林は、江戸時代に農業を営むために主にコナラ・クヌギを中心として作られた林です。公有化した後、エックス山等市民協議会と市が協働で整備方針をつくり、かつての林の姿を取り戻し、市民が憩える場所とするために整備・管理を行っています。

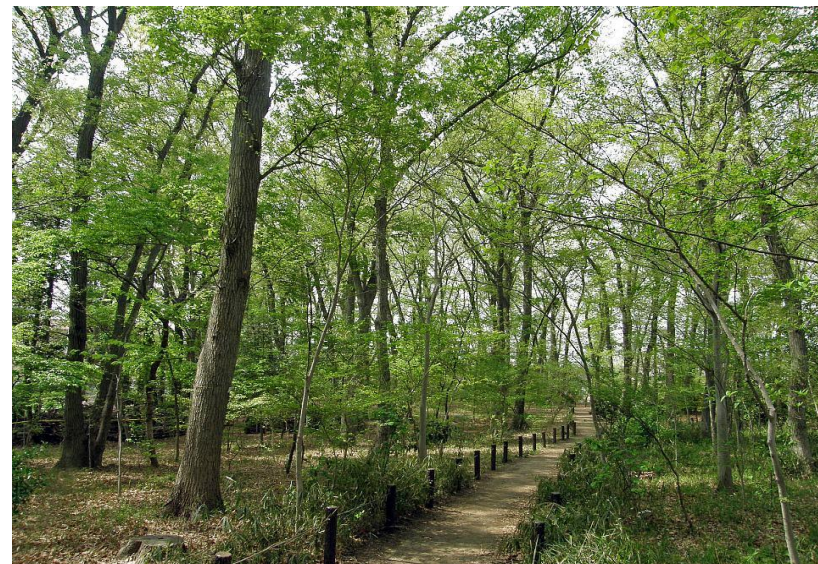
■整備方針と管理作業について

市内の樹林地・緑地・水辺をそれぞれの特性を活かしてネットワーク化し、自然を主にしたエコミュージアムをつくることを市全体の目標としました。エックス山をエコミュージアムの重要な拠点として、その整備のための三つの基本方針を決めました。

1. 昭和20-30年代風の雑木林を再生
2. 自然観察や憩うことのできる緑空間の再生
3. 生活と調和した都市の中の自然の再生

この方針に基づき、林内の通路や周囲フェンスの整備が行われ、2009年・2010年の2期にわたり林南側の450㎡・1000㎡の区域で林の若返りをめざした樹木更新作業を開始しました。

また、他の区域では、多くの植物が芽を出せる豊かな林床を再現し、市民が安心して憩える明るい林とするため、下草刈りや常緑低木樹の間引き作業を定期的に行っています。さらに、林に隣接する住宅・農地との共存も重要な視点として管理を行っています。



■エックス山の植生

エックス山はクヌギ・コナラを中心とする人が作った林ですが、適切な手入れが行われなかった時期があり、アズマネザサが増え、また人に踏まれて裸地化した部分もありました。その後の手入れによりかなり回復し、林内には300種以上の草本・木本が存在する豊かな環境を取り戻しています。

アズマネザサ等の下草刈りが進み、現在ではキンラン・ギンランが随所に姿を見せています。ヤマユリも見事な花を咲かせました。樹木更新区では伐採により日あたりが良くなり、クチナシグサが姿を見せ、オトギリソウが元気に咲いています。協議会では、定期的に植生調査を行って、林の変遷を見守っています。林が元気になってそこに集まる虫が増え、それを餌にする鳥も増えてきています。



エゴノキ



キンラン



ギンラン



シュンラン



ヤマユリ



クチナシグサ



オトギリソウ



サイハイラン



キツネノカミソリ